

海底観察断面図（秋季及び冬季：測線L-4 続き）



直径1~2cm生息孔(300m地点)
アナジャコ類と推定される。



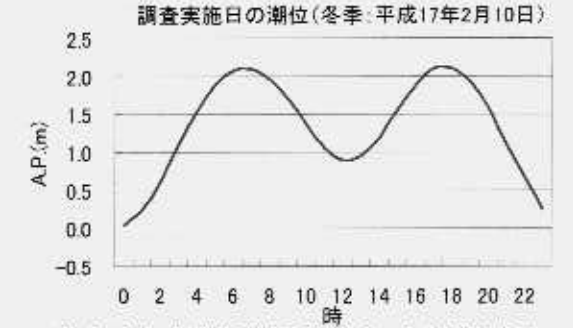
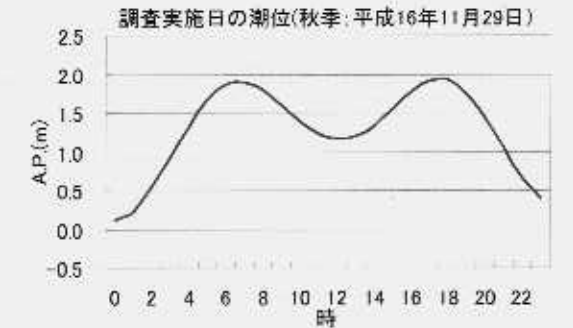
ハゼ科(320m地点)



ミノウミウシ類と直径1~2cm
生息孔(350m地点)
アナジャコ類と推定される。

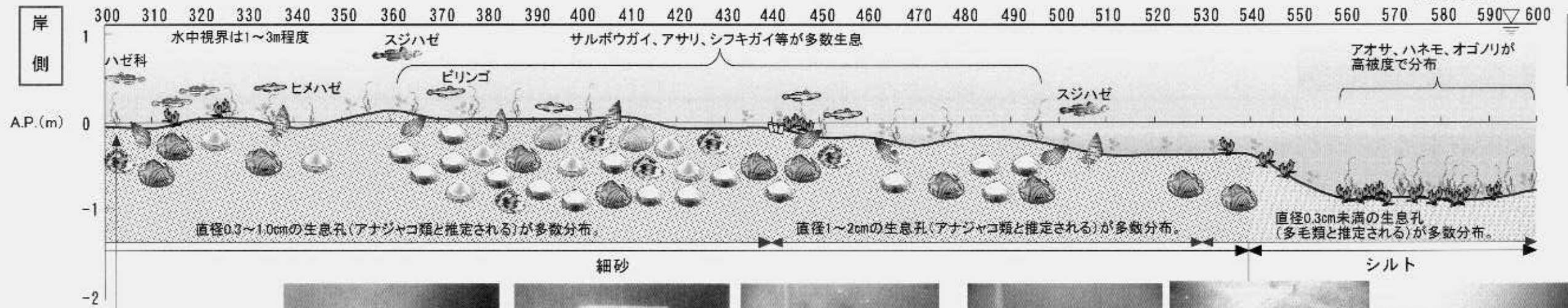


直径0.3~1cm生息孔(300m地点)
アナジャコ類と推定される。

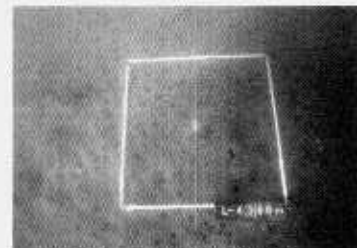


(気象庁東京港潮位観測所データより作成。)

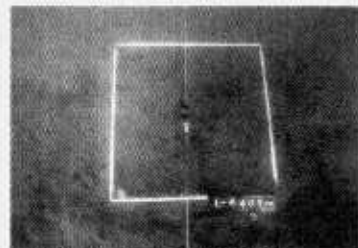
調査年月日: 秋季 平成16年11月29日9:10~13:30
冬季 平成17年2月10日9:45~13:00



潮間帯生物等
採取位置
L-4-4



360m地点。底質は細砂。
直径0.3~1cmの生息孔
(アナジャコ類と推定される)
が多数分布する。



400m地点。底質は細砂。
直径0.3~1cmの生息孔
(アナジャコ類と推定される)
が多数分布する。



450m地点。底質は細砂。
直径1~2cmの生息孔
(アナジャコ類と推定される)
が多数分布する。



550m地点。底質はシルトに変化。
海中の濁りが強くなる。



スジハゼと生息孔
(直径1~2cm) 560m地点



600m地点。底質はシルト。
アオサ属(緑藻類)、オゴノリ
(紅藻類)が繁茂する。
海中は濁りが強い。

※図中の水位線は、調査時間中の平均潮位を示している。

貝類凡例					海藻類凡例			
アラムシロガイ	アカガイ	サルボウガイ	アサリ	ハカガイ	シオフキガイ	アオサ属	ハネモ	オゴノリ